

政策評価調書(3年度実績)

政策名	芸術文化による創造県おおいとの推進	政策コード	Ⅲ-2	関係部局名	企画振興部、教育庁
-----	-------------------	-------	-----	-------	-----------

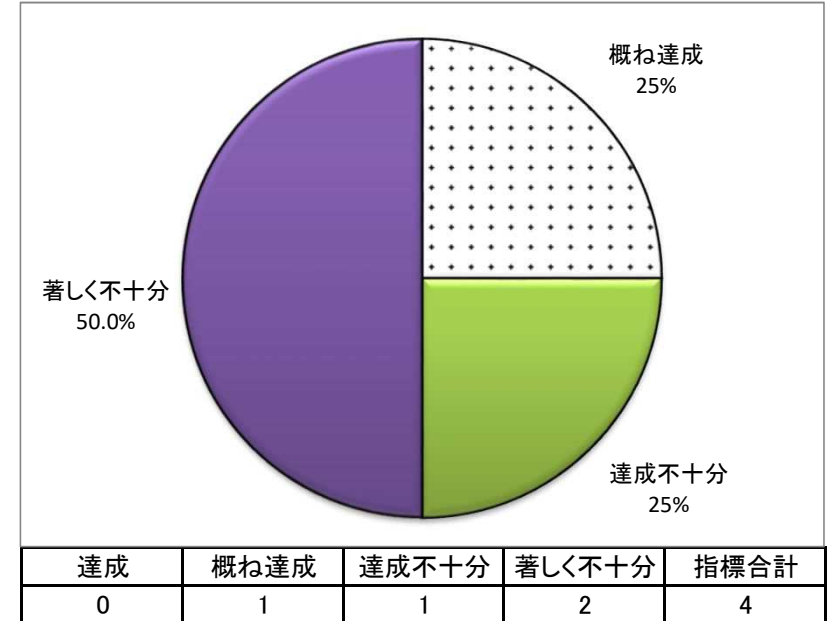
【Ⅰ. 政策の概要】

多彩な芸術文化に親しむ機会の充実、芸術文化の魅力発信強化、芸術文化ゾーンと文化施設、アート系NPO等との連携など、芸術文化の創造性を生かした行政課題への解決に取り組むとともに、文化財の保存・活用に関する総合的な施策の推進など、計画的な文化財・伝統文化の保存・活用・継承を進める。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

施策名		指標評価	総合評価
1	芸術文化の創造	達成不十分	B
2	芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり	概ね達成	B
3	文化財・伝統文化の保存・活用・継承	著しく不十分	C

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

県民誰もが質の高い多彩な芸術文化に触れる機会を確保するとともに、主体となって芸術文化活動に取り組むことのできる環境整備の充実が求められるが、コロナ禍により、特に芸術文化に触れる機会が著しく減っていることから、デジタル手法の活用などが必要である。

芸術文化ゾーンを中心として、芸術文化関係団体をはじめ、教育・産業・福祉・医療など様々な分野の団体等と連携し、芸術文化振興を図っていく必要がある。

R4開催の東アジア文化都市2022大分県開催事業における多種多様なイベントを通じて、文化の担い手である県民が芸術や伝統といった様々な文化に親しむことのできる場づくりに取り組む必要がある。

県内には、各地域で長い間受け継がれてきた文化財・伝統文化が数多く残されている。過疎化・少子高齢化を背景に、文化財の担い手不足による滅失や散逸の防止が喫緊の課題であり、各地域の文化財・伝統文化の計画的な保存・活用・継承のために、大分県文化財保存活用大綱に基づく市町村による地域計画作成の促進などの取り組みが必要である。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
文化財の保存・活用に関する市町村の地域計画の策定数(件)	50.0%
県立歴史博物館・先哲史料館・埋蔵文化財センターの利用者数(万人)	73.0%

<著しく不十分となった理由>
 新型コロナウイルスの影響による活動制限、イベント中止等により、目標値を達成できなかった。
 文化財の保存・活用に関する市町村の地域計画の策定数については、引き続き研修会等を開催し、市町村の作成支援を行う。
 県立歴史博物館・先哲史料館・埋蔵文化財センターについては、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、魅力あるイベントの開催や広報活動に努める。